

<プレスリリース>

2025 年 12 月 24 日

スペースワン株式会社

宇宙戦略基金「高頻度打上げに資するロケット製造プロセスの刷新」の採択決定について

～ロボティクス技術による固体燃料モータ製造の自動化・効率化を推進～



2025 年 12 月 24 日 – 小型ロケットの打上げにより「宇宙宅配便®」の実現を目指すスペースワン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 豊田正和、以下「スペースワン」）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が公募した「宇宙戦略基金」（公募テーマ：高頻度打上げに資するロケット製造プロセスの刷新）に提案し、採択されましたのでお知らせいたします。

スペースワンは、本基金事業を通じてロボティクス技術を活用した製造プロセスの革新に取り組み、製造コストの低減と生産リードタイムの短縮を図ることで、高頻度かつ安定した打上げ体制の構築を追求してまいります。

詳細は、JAXA「宇宙戦略基金」ホームページ（<https://fund.jaxa.jp/>）をご確認ください。

代表取締役社長 豊田 正和のコメント

「この度、当社提案が JAXA の「宇宙戦略基金」に採択されましたことを大変光栄に存じます。スペースワンが目指す「宇宙宅配便®」の実現には、高頻度かつコンスタントな打上げが不可欠です。本事業では、当社ロケットの根幹である固体燃料モータの製造プロセスを刷新し、自動化・効率化を進めることで、高頻度打上げを実現できる体制を整えることを目指します。さらに、本事業は宇宙産業全体のサプライチェーンの強靱化にも資する取り組みであり、今回の採択はそれらの後押しをいただいたものと受け止めています。今回の提案にご協力いただいた企業の皆様に心より感謝申し上げるとともに、今後も着実に本事業を遂行し、日本の宇宙産業の発展に貢献してまいります。」

以上

お問い合わせ先

スペースワン株式会社 広報担当

Email: info@space-one.co.jp

スペースワンについて

スペースワンは、小型人工衛星打上げに特化した宇宙輸送サービスを提供しています。和歌山県串本町・那智勝浦町に位置する専用のロケット発射場「スペースポート紀伊：SPK」と、小型ロケット「[カイロス](#)：KAIROS」で、2020 年代中に年間 20 機、2030 年代に 30 機の打上げサービスを提供する「宇宙宅配便®」を目指しています。2024 年にカイロスロケット初号機・2号機の打上げを実施しました。2026 年 2 月 25 日には 3 号機を打上げる予定です。

<https://www.space-one.co.jp/>

スペースポート紀伊について

「[スペースポート紀伊](#)：SPK」は、本州最南端の和歌山県串本町に位置する日本で初めての民間のロケット打上げ射場です。自社専用射場である SPK は、南方と東方に開けた地理的特性を活かし、打上げる軌道やタイミングに柔軟に対応できる点が特長です。これにより、多様化・高度化する宇宙輸送サービスに対し、機動的なサービス提供を可能としています。

宇宙ビジネス市場の世界的な拡大に伴い、宇宙輸送サービスへの需要は増加の一途をたどっています。とりわけ、今後は多数の小型衛星を一体的に運用するコンステレーションの普及により、打上げ需要がさらに加速すると見込まれています。

SPK は自社専用射場と小型ロケットを組み合わせた宇宙輸送インフラを基盤に、国内外の多様なユーザーのニーズを取り込みながら、宇宙の力で社会の課題を解決し、人々の暮らしを豊かにする、日本発の宇宙輸送インフラの実現を目指しています。

<https://www.space-one.co.jp/site/>